



# 東北大学病院 初期臨床研修プログラム 2025



東北大学病院 病院長  
張替 秀郎



東北大学病院は、国内で最も古い歴史を持つ大学病院の一つとして、「患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院」の基本理念の下、医療技術の開発や安心・安全な医療の提供に力を尽くすとともに、大学病院の使命である優秀な医療人の育成に病院一丸となって取り組んでいます。2018年には世界最高水準の医療機器を導入した先進医療棟がオープンし、機能性と安全性を高度に両立する先端医療を皆さんに実践いただくことが可能となりました。また本学建学以来「門戸開放」をモットーとしており、様々な出身大学のたくさんの研修医の方々が本院のプログラムで研修を行っております。これからも魅力ある研修環境を提供するとともに、病院全体で研修医の皆さんのサポートを行って参ります。より多くの皆さんのお越しをお待ちしております。

卒後研修センター長  
石田 孝宣



東北大学病院では、医師としてのスタートとなる重要な時期に、充実した研修が行えるよう万全の準備を整えてみなさんをお待ちしております。大学病院の特徴を活かし、一般的な疾患と希少な疾患の双方を学ぶことができるよう、東北地方を中心に北海道や関東を含めて約120病院と連携しています。また、当院は44の診療科を有し、400名を超える専門医・指導医が勤務しているため、幅広い領域を基礎から専門的な内容までしっかりと学ぶことができる優れた研修環境が構築されています。さらに、卒後研修センタースタッフによる充実したサポート体制により、安心して研修に取り組める生活環境を整えています。2022年度からは、東北大学独自の選択研修プログラムとして、AI技術を活用して医療情報解析の基礎を学ぶことができる診療情報処理研修を新設するなど、将来につながる取り組みも行なっています。皆様とお会いできることを楽しみに致しております。



2024年度1年目研修医

## 多様性と柔軟性を 持つプログラム

2年間のうち最大で10ヶ月間の自由選択期間があり、将来の目標に合わせた研修スケジュールを柔軟に組み立てることができます。将来志望する科が決まっている場合には、自分の進みたい診療科及び関連の深い診療科で重点的に研修を行うことで、専門知識の早期習得が可能となり、初期研修修了後のスタートをより早く切ることができます。志望科が決まっていない場合でも、当院には全ての領域の診療科が揃っているため、じっくりと将来の方向性を定めていくことができます。

## 充実した救急研修

スタッフ、設備共に全国有数の規模を誇る当院の高度救命救急センターで、1次から3次までの多彩な症例を経験することができます。高度救命救急センターには、CTによる診断と手術や治療を同時に行えるハイブリッドERが設置され、最先端の重症初期診療を経験できます。2年間を通じて行う救急当直も、豊富な臨床経験を持つ救急専門医の適切な指導の下で安心して行えます。救急研修時に不可欠なBLS、ACLS講習をプログラムに組み込み、受講時の講習料は当院が負担します。



## 将来のキャリアアップに直結

初期研修修了後の進路として、より深い専門性を磨くための専門研修や、世界水準の研究ができる大学院への進学など、その後の生涯研修がシームレスに繋がる環境を整えています。新専門医制度における19の基本領域すべてにおいて専門医資格を取得できる基幹型専門医研修プログラムを整備・運用しており、初期研修から専門研修への移行もスムーズに行うことが可能です。

## 診療情報処理研修を 選択科目に新設

2022年度より、AI技術の医療への活用を学ぶ「診療情報処理研修」を自由選択科目として研修することが可能になりました。当院で進めているClinical AIの枠組みを活用し、プログラミング言語の基礎から実践的な医療データ解析、放射線画像などの医療データに対する画像処理やAI画像診断などのハンズオン学習を行うことが可能です。

医療情報をデータ科学の見地から取り扱うことのできる医師は今後必要不可欠であり、当院では一早く初期臨床研修に取り入れました。



# プログラム紹介

## 1 | 自由選択プログラム

本院の各診療科と併せて、豊富な協力病院・施設の中から診療科単位で研修先を選択できます。最大10か月の自由選択期間を活用し、一人ひとりの多様なニーズに応えることが可能なプログラムです。

必修科	内科	6か月	原則1年目
	救急部門	3か月	
	地域医療	1か月	原則2年目
	小児科	1か月	
	産婦人科	1か月	
	外科	1か月	
	精神科	1か月	
	一般外来	1か月	原則2年目
自由選択科	最大10か月 (地域医療と一般外来を同時期に研修した場合)		

※本院のほか協力病院・施設から選択が可能

### スケジュール例

#### ▶ 1年目



#### ▶ 2年目



■ 東北大学病院 (本院) ■ 協力型病院・施設 ■ 必修 ■ 自由選択



## 2 | 小児科・産婦人科プログラム

将来小児科医または産婦人科医を志望する方の最初のステップとして、小児科、産婦人科の強力なサポートのもと、充実した臨床研修を行うことが可能なプログラムです。

### 小児科選択の場合

必修科	内科	6か月	原則1年目
	救急部門	3か月	
	地域医療	1か月	原則2年目
	小児科	3か月	1年目4-5月に小児科にて研修
	産婦人科	1か月	
	外科	1か月	
	精神科	1か月	
	一般外来	1か月	原則2年目
自由選択科	最大8か月 (地域医療と一般外来を同時期に研修した場合)		

※本院のほか協力病院・施設から選択が可能

### スケジュール例 (小児科選択の場合)

#### ▶ 1年目



### 産婦人科科選択の場合

必修科	内科	6か月	原則1年目
	救急部門	3か月	
	地域医療	1か月	原則2年目
	小児科	1か月	
	産婦人科	3か月	
	外科	1か月	
	精神科	1か月	
	一般外来	1か月	原則2年目
自由選択科	最大8か月 (地域医療と一般外来を同時期に研修した場合)		

※本院のほか協力病院・施設から選択が可能

#### ▶ 2年目



■ 東北大学病院 (本院) ■ 協力型病院・施設 ■ 必修 ■ 自由選択

### 3 | 地域医療重点プログラム

宮城県の地域医療の拠点である3次救急施設(右記\*の中から選択)で8-10か月、2次救急施設(右記\*\*の中から選択)で4-6か月の研修を行います。この期間は、宮城県医学生修学資金制度の義務履行期間とみなされます。

必修科	内科	6か月	原則1年目
	救急部門	3か月	
	地域医療	2か月	原則2年目
	小児科	1か月	
	産婦人科	1か月	
	外科	1か月	
	精神科	1か月	
	一般外来	1か月	原則2年目
自由選択科	最大9か月 (地域医療と一般外来同時期に研修した場合)		

本院のほか3次救急施設\*、2次救急施設\*\*、その他協力施設  
 \* 石巻赤十字病院、みやぎ県南中核病院、大崎市民病院  
 \*\* 気仙沼市立病院、登米市立登米市民病院、栗原市立栗原中央病院、公立刈田総合病院

#### スケジュール例

##### ▶ 1年目



##### ▶ 2年目



■ 東北大学病院(本院) ■ 協力型病院・施設 ■ 必修 ■ 自由選択

### 4 | 基礎研究医プログラム

基礎医学の研究に意欲があり、東北大学大学院医学系研究科の基礎医学系に入学する医師を対象に、臨床研修と基礎医学研究を両立するための基礎研究医養成・研修コースです。

大学院に入学し、基礎医学系分野に所属して研究を行いながら、本院の各診療科で臨床研修を行います。

必修科	内科	6か月	原則1年目
	救急部門	3か月	
	地域医療	1か月	原則2年目
	小児科	1か月	
	産婦人科	1か月	
	外科	1か月	
	精神科	1か月	
	一般外来	1か月	原則2年目
	基礎研究	4-6か月	2年目

自由選択科	最大6か月 (地域医療と一般外来研修を同時期に研修した場合)
-------	-----------------------------------

※本院のほか協力病院・施設から選択が可能

#### スケジュール例

##### ▶ 1年目



##### ▶ 2年目



■ 東北大学病院(本院) ■ 協力型病院・施設 ■ 基礎研究 ■ 必修 ■ 自由選択

## 連携病院・施設一覧

様々な規模の協力病院・施設と緊密に連携し、施設それぞれの役割に応じた研修を行うことができます。大学病院と協力病院との異なる性格を持つ施設で研修することで、幅広い経験を積むことが可能です。

都道府県	名 称
北海道	◎公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院
青 森	◎八戸市立市民病院 ◎下北医療センター 国保大間病院 ◎三戸地方保健所（三八地域県民局地域健康福祉部保健総室） ◎田子町国民健康保険町立田子診療所 ◎国民健康保険 南部町医療センター ◎三戸町国民健康保険三戸中央病院 ◎青森県立中央病院 ◎十和田市立中央病院 ◎国民健康保険 五戸総合病院 ◎独立行政法人国立病院機構 八戸病院
岩 手	◎岩手県立中央病院 ◎岩手県立胆沢病院 ◎岩手県立南光病院 ◎岩手県立磐井病院 ◎岩手県立大船渡病院 ◎岩手県立宮古病院 ◎岩手県宮古保健所 ◎宮古市国民健康保険田老診療所 ◎独立行政法人国立病院機構花巻病院 ◎奥州市総合水沢病院 ◎岩手県立高田病院 ◎特別養護老人ホーム高寿園 ◎岩手県立遠野病院 ◎北上済生会病院 ◎独立行政法人国立病院機構 岩手病院 ◎岩手県立中部病院
宮 城	◎独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター ◎独立行政法人労働者健康福祉機構 東北労災病院 ◎仙台市立病院 ◎公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 ◎東北医科薬科大学病院 ◎大崎市民病院 ◎大崎市民病院 岩出山分院 ◎石巻赤十字病院 ◎社会医療法人将道会 総合南東北病院 ◎地方独立行政法人 宮城県立こども病院 ◎独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院 ◎医療法人徳洲会仙台徳洲会病院 ◎一般財団法人みやぎ静心会 国見台病院 ◎一般財団法人厚生会 仙台厚生病院 ◎公立刈田総合病院 ◎気仙沼市立病院 ◎大友医院 ◎医療法人尚仁会 森田医院 ◎石巻市立病院 ◎みやぎ県南中核病院 ◎みやぎ県南中核病院附属村田診療所 ◎仙台赤十字病院 ◎公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 ◎丸森町国民健康保険丸森病院 ◎宮城県立がんセンター ◎JR 仙台病院 ◎宮城県立精神医療センター ◎独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台南病院 ◎公益財団法人宮城厚生協会 長町病院 ◎一般財団法人広南会広南病院 ◎青葉病院 ◎東北公済病院 ◎栗原市立栗原中央病院 ◎栗原市立若柳病院 ◎栗原市立栗駒病院 ◎令和クリニック ◎登米市立登米市民病院 ◎登米市立豊里病院 ◎女川町地域医療センター ◎宮城県赤十字血液センター ◎東北会病院 ◎宏人会 木町病院 ◎東北医科薬科大学病院 若林病院 ◎仙台往診クリニック ◎涌谷町町民医療福祉センター ◎光ヶ丘スペルマン病院 ◎いずみの杜診療所 ◎仙台市健康福祉局保健衛生部 仙台市生出診療所 ◎気仙沼市立本吉病院 ◎イムス明理会仙台総合病院 ◎土橋内科医院 ◎南三陸病院 ◎医療法人 岡部医院仙台 ◎こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ ◎東北福祉大学せんだんホスピタル ◎やまと在宅診療所登米 ◎やまと在宅診療所大崎 ◎南桜ホームケアクリニック ◎大泉記念病院 ◎あんどうクリニック ◎あいのもりクリニック ◎じょうなんファミリークリニック
秋 田	◎秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院 ◎秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院 ◎秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター ◎秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院 ◎市立角館総合病院
山 形	◎山形県立中央病院 ◎山形市立病院済生館
福 島	◎いわき市立いわき市医療センター ◎一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 ◎針ヶ丘病院 ◎医療法人 のざわ内科クリニック ◎いがらし内科外科クリニック ◎やまさわ内科 ◎附属南東北医療クリニック ◎矢内クリニック ◎ひろさか内科クリニック ◎いしだ内科 ◎医療法人 てちがわら内科 ◎医療法人健全会 おおがクリニック ◎モモの木クリニック ◎南東北第二病院 ◎公益財団法人湯浅報恩会 寿泉堂総合病院 ◎福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院 ◎福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院 ◎福島県厚生農業協同組合連合会 坂下厚生総合病院 ◎福島県厚生農業協同組合連合会 高田厚生病院 ◎福島県赤十字血液センター ◎福島県南保健福祉事務所 ◎福島県厚生農業協同組合連合会 鹿島厚生病院 ◎公立相馬総合病院
茨 城	◎独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター

## 研修医の声

当院での初期研修の強みは2点あります。

1点目は丁寧な教育体制です。当院は大学病院であるがゆえに研修医のみならず、学生や専攻医への指導経験の豊富な先生が数多くいらっしゃいます。適切な知識を習得できるだけでなく、常に見守られた環境で安心して手技を行うことができます。また詳細なフィードバックを受けることができるため、学んだ経験を次に活かすことができます。

2点目は数多くの症例に当たることができる点です。当院は一般的な診療科に加え、てんかん科や漢方内科といった専門的な科も揃っています。そのため、市中病院では中々診ることできないRare Diseaseを経験することができます。また当院は関連病院が多く、Common Diseaseをはじめとする一般的な診療法を習得できます。当院のローテートで大学病院・市中病院の両方での働き方を学び、同時に幅広い症例に当たることができます。

その他にも研修医室がきれいなことや大学図書館を利用できること、先輩研修医の面倒見が良いといった、充実した研修生活を送れる環境が整っています。是非ここ仙台の地で一緒に研鑽を積めることを心よりお待ちしております。



2年目研修医  
松崎 凌佑

## 修了者の声

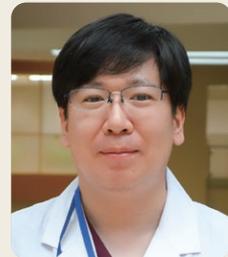
当院のプログラムの特徴は選択できる診療科が多く、専門性の高い症例を経験できることにあると思います。

私は、1年目に当院で内科や外科の研修をおこない基本的かつ先進的な、また複雑な症例を経験することができました。2年目にはたすき掛け制度で県内県外の数多くの病院で研修を行うことができました。市中病院であっても地域が違えば求められるものも異なり、診療の内容も大学病院とは異なるものでした。

大学と市中病院と異なる環境でそれぞれの利点と欠点を補完しあえる研修をおこなえるのは大学病院の強みともいえます。

最後に、研修環境においては、同期の人数も多く、様々な背景を持つ先生方とともに互いに知識を高めあったり親交を深めたりと研修医生活を充実させることができました。

自身の目指す医師像に関わらず、幅広い医療、専門的な医療で将来に役立てる研修ができるとおもいますので当院での研修をぜひおすすめいたします。



令和5年度修了者  
気仙沼市立本吉病院  
専攻医  
上條 広光

## 施設紹介

### ■先端医療技術トレーニングセンター

国立大学病院の専用施設としては全国初となる動物を用いた手術トレーニング施設です。実際の外科手術と同様に、手術の進め方や手術器具・器械の使用方法を、臨床の現場で手術を執刀している講師陣から学べる、研修医向けの外科トレーニングを定期的開催しています。

### ■クリニカル・スキルスラボ

医療現場を模した環境の中にシミュレータ（模型とバーチャル型）や医療機器、備品などが多数整備されています。専任教員のサポートを受けながら、安全かつ効果的に臨床技能を繰り返し習得したり、シミュレーション教育に関する相談にも対応しています。

### ■附属図書館

休日も利用できる図書館には、オンラインジャーナルや医学関連雑誌が充実しており、文献の検索や国内外の圖書の取り寄せも可能です。

## 募集要項

当院での研修をご希望の方は、下記の募集要項をご確認の上ご応募ください。

### 募集定員

自由選択プログラム……………24名  
小児科・産婦人科プログラム…4名  
地域医療重点プログラム ……4名  
基礎研修医プログラム ……募集停止

### 募集資格

マッチング対象者(基礎研修医プログラムはマッチング対象外)

### 選考日

第1回:令和5年8月 上旬  
第2回:令和5年8月 中旬  
第3回:令和5年9月 上旬  
上記以外でも病院見学时に随時受験が可能。(マッチング対象者)

### 選考方法

面接試験、適性検査

### 応募書類

卒後研修センターへ以下の書類を提出  
①初期研修医臨床研修申請書\*  
②履歴書(写真貼付)\*  
③自己PR表\*  
④卒業見込み証明書(医学部卒業見込み者)  
⑤共用試験(CBT)成績表の写し  
⑥成績証明書  
上記の応募書類を郵便局の窓口から、速達・簡易書留郵便でお送りください。  
なお、応募書類は原則として返却いたしませんのでご了承ください。

\*「応募書類1～3」はHP内より様式をダウンロードし、パソコンまたは手書きにてご記入ください。

### 処遇

**身分:** 准職員 医員(研修医)  
**給与:** 月額9,075円+諸手当  
※月額およそ35万円(税込み)  
**諸手当:** 研修医手当(100,000円ただし救急科ローテート中は130,000円)、  
超過勤務手当、特殊勤務手当、通勤手当等  
**勤務時間:** 原則8時30分～17時15分(変形労働時間制)  
**休暇:** 年次有給休暇(6カ月勤務後に10日間、2年目は11日間付与)  
リフレッシュ休暇(3日間)、忌引休暇、産前産後休暇、病気休暇等  
**社会保険など** 共済保険(短期)、厚生年金、雇用・労災保険  
**宿舎:** 有り 1K 単身者用 10,000円/月(光熱水料別)  
**医師賠償責任保険** 病院として加入しているほか、個人加入必須

詳しくはHPを御覧ください。<https://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp>

お申込み・お問合せ

東北大学病院卒後研修センター (総務課臨床研修係)

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号 Tel. 022-717-7765 Fax. 022-717-7143

✉ [hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp](mailto:hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp)

<https://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp/>

東北大学病院 卒後

検索

